

01_「諏訪湖の水草対策」ワーキンググループについて

諏訪地域振興局環境課

1 概要等

これまで生態系への影響を考慮しつつ、刈取船や手作業によるヒシ除去作業を行ってきた。ヒシの繁茂面積は、隔年周期で増減を繰り返しながら減少していたが、平成 30 年度以降は微増が続いている。また、クロモの繁茂により舟の運航に支障を来すなど新たな問題も生じている。諏訪湖創生ビジョン（令和 5 年 3 月改定）において、ヒシ除去の新たな仕組みづくりを検討し、今後 5 年間でヒシ除去量倍増を目指すこととしている。また、ヒシの繁茂にはプラス・マイナスの両面があり、ヒシ除去の手法や実施場所等の検討を行う必要のほか、ヒシ以外の水草の対策についても議論する必要があることから、諏訪湖創生ビジョン推進会議にワーキンググループを設置し合意形成に向け検討している。

2 令和 6 年度の検討状況等

令和 6 年度は 3 回開催し、意見交換等を行った。

日程	WG	内容
令和 6 年 5 月 21 日	第 2 回 WG	水草の課題等について意見交換。 「順応的管理」の説明。（諏訪湖環境研究 C）。
10 月 29 日	第 3 回 WG	諏訪湖環境研究 C の取組とゾーニングの説明。 令和 7 年度の水草刈取船の刈取優先場所の決め方。（第 2 回 WG 意見）
令和 7 年 3 月 4 日	第 4 回 WG	令和 7 年度の水草刈取船の刈取優先場所の合意形成について。 「諏訪湖における環境改善事業の手法ならびにその効果と生態影響調査」の報告。（いであ㈱（県委託事業））

3 令和 7 年度の予定

諏訪湖の状況を考慮したゾーニング（場所ごとに異なる管理目標を設定）を検討する。

ヒシの除去量倍増を目指し各主体が試行した方法（環境課は、早期刈り取り、モニターツアー）の情報共有を行う。

	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月
諏訪湖創生ビジョン 推進会議	計画報告(5.28)			
ワーキンググループ	WG 開催		WG 開催	
環境課		ヒシ刈り、モニター ツアー	WG 開催準備	
諏訪湖環境研究 C		ロゼット葉除去(新た な手法)の効果検証		